

2022年7月24日

## 第2部「神は、唯一の神の中に3つの人格があることを信じます。」(OICの信仰声明)

ペテロの手紙第一1:2 「父なる神の予知に従い、御霊の聖めによって、イエス・キリストに従うように、またその血の注ぎかけを受けるように選ばれた人々へ。どうか、恵みと平安が、あなたがたの上にありますように豊かにされますように。」

皆さん、お早うございます。皆さんに、またお会い出来て嬉しく思います。

先月、大阪インターナショナルチャーチのメンバーとして、土台となる教義である、教会の信仰声明のメッセージを始めました。その声明の段落1は、聖書が、全てのクリスチャンの教義であり実践すべき最終の権威ある神の言葉として、靈感を受けたものと信じていることを宣言しています。今日は、信仰声明の第2段落についてお話しします。今日の説教題は、「私たちは、唯一の神の中に3つの人格があることを信じます。」です。

その題は、第2段落で言っている事の要約です。では、その段落を引用しましょう。

すべての創造主であり、とこしえに完全で、永遠に三位一体（父なる神、御子、聖霊）である、唯一の神を信じる。 ペテロの手紙 第一 1:2

これは、正統的なキリスト教神学の基盤です：それは、神は一つであり、神は三つの明白な人格の三位一体として存在しています。これは、言葉において矛盾しているように見えるかもしれませんが、これは、全てを造られた神、…主イエスについて…聖霊について語らなければならない聖書全てを考察した時に来る結論です。キリスト教時代の初期の頃、そして今もなお、クリスチャン達は、神が唯一であり、しかし3つの人格の存在することが出来ると言う概念を、どのように正確に説明し、理解するかに取り組んでいます。これは、今日、皆さんに、お話ししたい教義の概要ですが、もちろん、今日の説教の中に、到達すべき大きな課題があります。

この教義を始めるに当たり、どこから始めましょうか？旧約聖書から始めるのはいかがでしょうか？ヘブル語の *Shema* として知られる、有名な声明から始めましょうか？この言葉は、申命記6:4にあります。 - 「聞きなさい。イスラエル。主は私たちの神。主はただひとりである。」 「聞く」のヘブライ語は「shema」、そしてその節は しばしば the *Shema* あるいは the *Shema Yisrael* と呼ばれます：「聞きなさい。イスラエル。」イスラエルが聞かなければならない事は、何でしょうか？ 彼らの神が、ヤハウェであり、主であり、そして神は唯一と言うことです。これは、排他性の宣言です：イスラエルの民は唯一の神であり、ヤハウェであり、主に従うべきであると言うことです。これは、多くの神々を礼拝していた周辺の国々とは明確に異なっています。 - 他の国々は、多神教でした。しかし、神は、神の民に神のみに従うこと、ヤハウェだけを礼拝することを望まれました。

まず、出エジプト記 20 : 2 - 3 にある十誡を見ましょう。 - 「<sup>2</sup>「わたしは、あなたをエジプトの国、奴隷の家から連れ出した、あなたの神、主である。<sup>3</sup>あなたには、わたしのほかに、ほかの神々があってはならない。」

イザヤ書 45 : 5 - 6 を見ましょう。 - 「わたしが主である。ほかにはいない。わたしのほかに神はいない。あなたはわたしを知らないが、わたしはあなたに力を帯びさせる。<sup>6</sup>それは、日の上の方からも、西からも、わたしのほかには、だれもいないことを、人々が知るためだ。わたしが主である。ほかにはいない。」

申命記 4 : 6 が、主は唯一だと表明する時、これは、排他的な言葉であり、そして神の内的一致の表明ではありません。宗教的な人々の中には、神が三位一体として説明できないことを意味する節だと捉える人もいます。というのは、彼らは、この節を、神が神の内なる本質の中で一つあることを意味すると解釈しているからです。事実、この節のヘブル語の「一つ」と言う言葉は、*'e·had* (אֶחָד) と言います。そして、この言葉は複数の要素で構成された一致としての言葉とも読めます。私の所有するヘブル語辞典には、この言葉は「異なる個別の部分がある一つとして結合する」と意味すると書かれています。(James Swanson, *Dictionary of Biblical Languages with Semantic Domains: Hebrew (Old Testament)*). この言葉は、創世記 2 : 24 に使われています。「それゆえ、男はその父母を離れ、妻と結び合い、ふたりは一体となるのである。」一体となる。

ですから、キリスト教では、三位一体に存在する神を語ります：父、御子、聖霊。それらは、3つの別々の神ではありません。これは、3つの明確な人格の存在としての、一つの神です。私たちは「三位一体の神 Triune God」と言います。“Triune は “tri” (3つの意) そして “une” (単一、あるいは団結したの意) です。一つの中に3つ。私たちの神は、一つの中に3つの、三位一体の神です。

私の ESV スタディバイブルには、三位一体に関するエッセイで次のように書かれています。

「三位一体に関する聖書の教えは、4つの本質的な断言を具現化しています。

- 1) 一つの、唯一の真の神、生ける神は、唯一の存在である。
- 2) この唯一の神は、父なる神、子なる神、聖霊なる神の三位一体として永遠に存在する。
- 3) この3つの人格は属性において完全に等しく、それぞれが同じ神性を持っている。
- 4) 各人格は完全に神であるが、各人格は同一ではない。父、子、聖霊の違いは、それらが互いに関係する方法と、統一された目的を達成するためにそれぞれが果たす役割に見られる。(Excerpt From: Crossway. “ESV® Study Bible.”)

多くの教会や宗派では、「信仰声明」を作成する際に、それぞれの教義を支える聖書の箇所をいくつか列挙します。OIC の信仰声明では、聖書の箇所はごくわずかで、各段落に1つか2つか3つの聖句が参照されていることに気が付きました。この後、私たちの「信仰声明」の第2段落で言及されている1つの聖句を取り上げ、それに関連するいくつかの聖句を加えて発展させたいと思います。

第2段落を見るなら、それはペテロの手紙 第一 1 : 2 の参照です。その節を読みましょう：「父なる神の予知に従い、御霊の聖めによって、イエス・キリストに従うように、またその血の注ぎかけを受けるように選ばれた人々へ。どうか、恵みと平安が、あなたがたの上にあまます豊かにされますように。」

ここに、一つの節の中に三位一体の各メンバーを見ることができます：父なる神、子としての神（それは、主イエス・キリスト）、そして聖霊なる神。

新約聖書の他の箇所でも三位一体の神の3つの人格が語られているのを見つけます。恐らく、これらの中で最も有名なものは、マタイ福音書 28：18 - 19 の大宣教命令 でしょう。  
- 「イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。<sup>19</sup> それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子とせよ。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを受け…」

キリスト教の洗礼式を見ると、牧師が「父と子と聖霊の名によって洗礼を授けます。」というようなことを言うのに気がついたかもしれません。この言葉は、この聖句から来ています。私たちはこの名によって洗礼を授けるように命じられているのです。そして「名」という言葉は複数形ではなく、単数形であることに注目してください。これは一つの神ですが、私たちはこの神を父と子と聖霊として知っています。三位一体です。三位一体の神がここにいらっしゃるのです。「父と子と聖霊の御名によって」という三位一体の形式で洗礼を授けることは非常に重要です。これはキリスト教の洗礼の特徴です。私たちクリスチャンは、洗礼をどのように実践するかについて意見が分かれています、ひとつだけ一致しているのは、洗礼の儀式は父と子と聖霊の御名によって行われなければならないということです。

コリント人への手紙第二 13：13 を見ましょう。そこには、使徒パウロが、彼の手紙を次のような祝祷で終えています：「主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがたすべてとともにありますように。」ここでも、一つの節に三位一体のそれぞれのメンバーを見ます。どのようにして、イエス・キリストが新約聖書全体で、共通して主と呼ばれるのかに注意してください。

コリント人への手紙 第一 12 章を見ましょう。パウロが聖霊の賜物について議論を始める時です。4 - 6 節でこう言っています。「さて、御霊の賜物にはいろいろの種類がありますが、御霊は同じ御霊です。<sup>5</sup> 奉仕（働き）にはいろいろの種類がありますが、主は同じ主です。<sup>6</sup> 働きにはいろいろの種類がありますが、神はすべての人の中ですべての働きをなさる同じ神です。」4 節では、異なる賜物だが、一つの御霊がそれらを分け与えるのを見ます。5 節では、主イエス・キリストが教会内の異なる種類のミニストリーの主権を持っているのを見ます。6 節では、様々は賜物の働きと教会内で働くために賜物を与えられた人々の生活の中で働かれるのは神です。なぜなら、父なる神は、三位一体の第一の位を持っておられるからです。聖書の文面で父が言及される時、コリント人への手紙 第一 12 章、そして先ほど見たコリント人への手紙 第二 13 章に見るように、父なる神は、しばしば、単に「神」と呼ばれるからです。

三位一体の3つのメンバーが言われている聖書箇所をもう一つ見ましょう。それは、マタイの福音書 3：16 - 17 にある、イエスの洗礼の時です。- 『こうして、イエスはバプテスマを受けて、すぐに水から上がった。すると、天が開け、神の御霊が鳩のように下って、自分の上に来られるのをご覧になった。<sup>17</sup> また、天からこう告げる声が聞こえた。「これ

は、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ。」』この場面では、神の子であるイエスに聖霊が臨み、父である神が天から語っていることに注目してください。

私は、三位一体のこれら3つのメンバーが特に言及されているいくつかの聖書箇所をお見せしました。もっと、皆さんにお見せすることはできますが、次のメッセージに進まなければなりません。

神、主イエス・キリストなる御子、そして聖霊を個別に見る時間を少し取りたいと思います。旧約聖書で、神と言う名前を見ましょう。

今日のメッセージの初めに *shema* について話しました。申命記6：4 - 「聞きなさい。イスラエル。主は私たちの神。主はただひとりである。」あなたは、わたしを「ヤハウエ」として話す神を聞きました。私が使ったこの名前は、ヘブル語聖書でしばしば使われる神の名前から来たものです。それは、英語の文字 YHWH (יהוה) に訳しています。昔ヘブルでは、彼らは母音を書きませんでした。ので、子音しかありません。そこで YHWH と書きます。英語では、ヤハウエと発音しますが、皆さんはエホバとそれが言われるのを時々聞くでしょう。Y が時々、j として書き表わされましたからです。

ほとんどの英語の聖書でこの節を見ると、全て大文字で「LORD」と書かれています。これは、ヘブライ語の「YHWH」を意味します。古代ヘブライ人は、神の名前を発音することに抵抗があったので、聖書を読んでいて YHWH に出会うと、ヘブライ語の「主」を口にしたものです。「アドナイ」です。英語では、この習慣を踏襲して、「主」を使いますが、印刷された聖書では、この単語をすべて大文字にして (LORD) 「主」、実際に YHWH であることを示すために使っています。日本語の聖書では、画面のように太文字の「主」という漢字を使います。

この名前の YHWH (יהוה) 語源は、出エジプト記 3:13-15 にあります- 「モーセは神に申し上げた。「今、私はイスラエル人のところに行きます。私が彼らに『あなたがたの父祖の神が、私をあなたがたのもとに遣わされました。』」と言え、彼らは、『その名は何ですか。』と私に聞くでしょう。私は、何と答えたらよいのでしょうか。」<sup>14</sup> 神はモーセに仰せられた。「わたしは、『わたしはある。』という者である。」また仰せられた。「あなたはイスラエル人にこう告げなければならない。『わたしはあるという方が、私をあなたがたのところ遣わされた。』と。」<sup>15</sup> 神はさらにモーセに仰せられた。「イスラエル人に言え。あなたがたの父祖の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神、主が、私をあなたがたのところ遣わされた、と言え。これが永遠にわたしの名、これが代々にわたってわたしの呼び名である。」YHWH という名は、ヘブル語の *hayah*, から派生しています。その意味は存在です。これは神が存在の神だからです。

*ESV Study Bible* は、神の御性質について書いています：「聖書に登場する多くの神の名前の中で、燃える柴の中でモーセに示された「ヤハウエ」（「主」と訳される）ほど重要な名前はありません（出エジプト記 3:15）。ヤハウエは言語学的には「私がいる」という動詞と関係があり、神学的な重要性を持っています。それはおそらく、神の自己存在、独立性、自己充足性、永遠性、不変の性格を伝えているのでしょう。... 神は威厳があると同時に親密であり、偉大で永遠な「私はある」、自分の子供を名前を知っていて、契約の約

束を守る神であります。” (Excerpt From: Crossway. “ESV® Study Bible.”)。この引用文の途中にある一文を繰り返しますと、このヤハウエという名前は、“神の自己存在、独立、自己充足、永遠性、不変の性格を伝えている可能性が最も高い”ということです。

もう一つ神について重要な名前は *Elohim* エロヒムです。これは、大抵「神」と訳されています。 *The Complete Jewish Study Bible* は、これのことを次のように言っています：  
“*Elohim* は、最も一般的に使われた神の名前で、創世記の1章で32回、旧約聖書 the Tanakth タナハ/タナクでは2500回使われています。複数形ですが、広く、単数形動詞あるいは、形容詞と組み合わせられます。 - おそらく、これは威厳や卓越性の複数形として説明され、高い威厳や偉大さを表現しているのでしょう。この古代の神の名称は、神の創造力、権威、主権という考えを伝えています。

「E1」を使った神の様々な名前があります。創世記14:18や他のところにもある、*Elyon* エル エリオン (最も高き神) も含まれます。そして 出エジプト記6:3とヨブ記の広範囲にわたってある *El Shaddai* エルシャダイ (全能の神) があります。

神は、また *Adonai*, アドナイとしても言及されます。その意味は「私の主」あるいは、「主」です。この単語は、しばしば ヤハウエと一緒に使われます。そして、そのときは、*Adonai Yahweh* アドナイ・ヤハウエは「Lord God 主なる神」と英語に訳され、Godが大文字で書かれます。これは詩編に頻繁に見ますが、預言書やモーセの5書にも時々見られます。

神は時々、旧約聖書の中で「父」として言及されます。イザヤ書63:16 - 「まことに、あなたは私たちの父です。たとい、アブラハムが私たちを知らず、イスラエルが私たちを認めなくても、主よ、あなたは、私たちの父です。あなたの御名は、とこしえから私たちの贖い主です。」

マラキ書2:10の前半部分 - 「私たちはみな、ただひとりの父を持っているではないか。ただひとりの神が、私たちを創造したではないか…」

そして申命記32:6の後半部分 - 「あなたがたはこのように主に恩を返すのか。愚かで知恵のない民よ。主はあなたを造った父ではないか。主はあなたを造り上げ(買い)、あなたを堅く建てるのではないか。」

勿論、私たちの父として神が言及されている所は、新約聖書にも多くあります。それらの一つはマタイ福音書6:9にある主の祈りの冒頭部分で、イエスは言われます「だから、こう祈りなさい。『天にいます私たちの父よ。御名があがめられますように。』」

次に、神の子、主イエス・キリストについて、少しの間お話ししたいと思います。旧約聖書の中で、来るべきメシアに関する最も有名な預言の一つは、イザヤ書9章にもあります。クリスマスの季節になると、この聖句が読み上げられるのをよく耳にします。6節と7節を読みましょう：「<sup>6</sup> ひとりのみどりごが、私たちのために生まれる。ひとりの男の子が、私たちに与えられる。主権はその肩にあり、その名は「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる。<sup>7</sup> その主権は増し加わり、その平和は限りなく、ダビデの王座に着いて、その王国を治め、さばきと正義によってこれを堅く立て、これをささえる。今より、とこしえまで。万軍の主の熱心がこれを成し遂げる。」

ダビデがイスラエルの王だった時、預言者ナタンが彼のもとに来て、神からの約束、それは「ダビデの契約」と呼んでいるものを与えました。この約束は、ダビデの子が王座に座り、ダビデの王国が永遠に建てられることでした。サムエル記 第二 7:12-13 で、ナタンはダビデに言います：「<sup>12</sup> あなたの日数が満ち、あなたがあなたの先祖たちとともに眠るとき、わたしは、あなたの身から出る世継ぎの子を、あなたのあとに起こし、彼の王国を確立させる。<sup>13</sup> 彼はわたしの名のために一つの家を建て、わたしはその王国の王座をどこしえまでも堅く立てる。」

16 節は、神とダビデとの契約が終わります：「あなたの家とあなたの王国とは、わたしの前にとこしえまでも続き、あなたの王座はどこしえまでも堅く立つ。」

今日、旧約聖書にあるメシア預言の全ての概要をお話しする時間がありません。イエスは、メシアの約束の成就でした。そして、今日でさえ、私たちは、この地上に、キリストの王国が堅く建てられるために、キリストが再臨されるのを待ち望んでいます。しかしながら、それは、私がいつかする、もう一つのメッセージのトピックです。今日の私の焦点は、神の御子として、そして全き神であるイエスです。私たちは、何故、イエスを全き神と呼ぶのでしょうか？ 旧約聖書に興味深い聖書箇所が幾つかあります。それは主なる神と呼ばれる、2つの個別の人格を示す聖書箇所です。

詩編 45:6-7 - 「<sup>6</sup> 神よ。あなたの王座は世々限りなく、あなたの王国の杖は公正の杖。<sup>7</sup> あなたは義を愛し、悪を憎んだ。それゆえ、神よ。あなたの神は喜びの油をあなたのともがらにまして、あなたにそそがれた。」

7 節をもう一度ご覧ください：どのようにして、神は神の上に他にもう一人の神を持つことが出来るのでしょうか？ 新約聖書は、これがイエス・キリストへの言及だと認識しています。

ヘブル人への手紙は、いくつかの興味深い文章で始まっています。1-3 節を読みましょう。

- 「<sup>1</sup> 神は、むかし先祖たちに、預言者たちを通して、多くの部分に分け、また、いろいろな方法で語られましたが、<sup>2</sup> この終わりの時には、御子によって、私たちに語られました。神は、御子を万物の相続者とし、また御子によって世界を造られました。<sup>3</sup> 御子は神の栄光の輝き、また神の本質の完全な現われであり、その力あるみことばによって万物を保っておられます。また、罪のきよめを成し遂げて、すぐれて高い所の大能者の右の座に着かれました。」

そして 8 節と 9 節はイザヤ書 45:6-7 が引用されています。- 「<sup>8</sup> 御子については、こう言われます。「神よ。あなたの御座は世々限りなく、あなたの御国の杖こそ、まっすぐな杖です。<sup>9</sup> あなたは義を愛し、不正を憎まれます。それゆえ、神よ。あなたの神は、あふれるばかりの喜びの油を、あなたとともに立つ者にまして、あなたに注ぎなさいました。」

王国が永遠に建てられる、ダビデの契約が、詩編 45 篇とヘブル書 1 章で、そして イエス・キリストは、その王座が永遠に建てられる 神であると繰り返されています。

詩編 110 篇を見ましょう：「主が私の主に言います:わたしがあなたの敵をあなたの足台とするまでは、わたしの右の座に着いていなさい。」ヤハウェはアドナイに言います、

「わたしがあなたの敵をあなたの足台とするまでは、わたしの右の座に着いていなさい。」再び、二人の人が神であると言われていました。

ヘブル書1章に戻りましょう。13節で言っています「神は、かつてどの御使いに向かって、こう言われたでしょう。「わたしがあなたの敵をあなたの足台とするまでは、わたしの右の座に着いていなさい。」この疑問への答えは、神がいかなる天使にもこのことを言わなかったと言うことです；むしろヤハウエはこれをアドナイに言いました。そして、ここには、神への言及と神の御子に語る神の言葉があります。

もう一度ヘブル書1:2-3を見ましょう。2節では、御子によって世界は造られたと言っています。3節は、イエスは、父なる神と同じ栄光と本質を持っておられると述べています。

コロサイ人のへ手紙1章を見ましょう。ここでは、神の御子が世界の創造に深く関わったことを読みます。…そして、御子の十字架上での犠牲を通して人類の贖いに、子のきわめて重要な働きを読むことができます。コロサイ人への手紙1:13-17を見ましょう。- 「神は、私たちを暗やみの圧制から救い出して、愛する御子のご支配の中に移してくださいました。<sup>14</sup> この御子のうちにあつて、私たちは、贖い、すなわち罪の赦しを得ています。<sup>15</sup> 御子は、見えない神のかたちであり、造られたすべてのものより先に生まれた方です。<sup>16</sup> なぜなら、万物は御子にあつて造られたからです。天にあるもの、地にあるもの、見えるもの、また見えないもの、王座も主権も支配も権威も、すべて御子によって造られたのです。万物は、御子によって造られ、御子のために造られたのです。<sup>17</sup> 御子は、万物よりも先に存在し、万物は御子にあつて成り立っています。」

19節と20節 - 「<sup>19</sup> なぜなら、神はみこころによって、満ち満ちた神の本質を御子のうちに宿らせ、<sup>20</sup> その十字架の血によって平和をつくり、御子によって万物を、ご自分と和解させてくださったからです。地にあるものも天にあるものも、ただ御子によって和解させてくださったのです。」

皆さんと分かち合いたい聖句は他にも沢山あります。これらはほんの一例です。

聖霊について、議論しましょう。と言うのは、多くの人々が、父と子のように、人として同じレベルで聖霊を見ることに困難を覚えているからです。多くの異なった方法で、父や子は話したり、行動したりするのを見ます。人々は、類似する方法を行動する聖霊を描くことは、人々にとって、難しいです。実は、三位一体を否定したい人はたくさんいて、聖霊はまったく人ではなく、神から生じた非人格的な力や影響力に過ぎないと言おうとしています。しかし、聖霊は人でなければならないことを示す節がいくつもあります。

今日のメッセージの最初の所で、コリント人への手紙 第一 12章で聖霊の賜物についてのいくつかの節を引用しました。そして聖霊の賜物の紹介の最後に、使徒パウロがコリント人への手紙 第一 12:11で言っています：「しかし、同一の御霊がこれらすべてのことをなさるのであって、みこころのままに、おのおのにそれぞれの賜物を分け与えてくださるのです。」どのようにして、賜物が分け与えられるのか注意してください：聖霊のみこころのままに。どのように賜物が与えられるかは、聖霊が選びます。聖霊は非人格的な力ではありえません。なぜなら、聖霊は選択をしているからです。… 聖霊には意志がありま

す。したがって、彼は人でなければなりません。彼は、父、子、聖霊という三位一体の中の同等のメンバーです。

この点においてさらに、説明するために皆さんと分かち合いたいもっと多くの節があるのですが、この一つの例が今日のために充分だと思います。

今日のメッセージを the *ESV Study Bible* から、もう一つ引用して終わりにします。「聖書の中で、神の性質が徐々に明らかにされるにつれて、唯一の神が3つの位格で永遠に存在することがわかります。この三つの位格は同じ神性を共有していますが、役割と関係において異なっています。神の三位一体の存在の中心にある基本原理は、統一と区別であり、どちらかが損なわれることなく共存しています。神について必然的に当てはまることは、父、子、霊についても当てはまります。彼らは本質的には等しいですが、機能的には異なっています。」

(Excerpt From: Crossway. “ESV® Study Bible.” )